

第4章 医療の状況

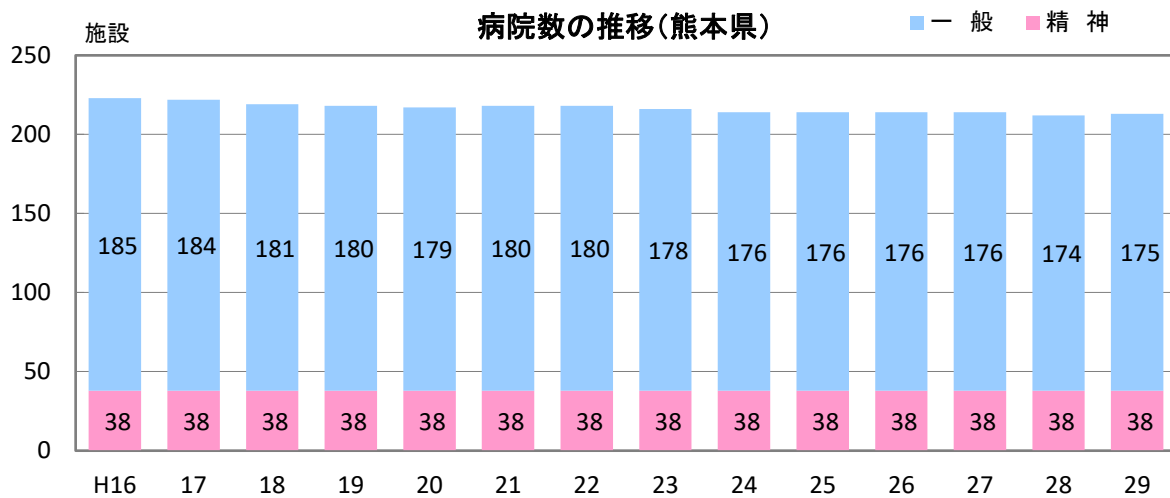
1. 医療施設

(1) 病院と一般診療所は増加、歯科診療所は7設の減少。

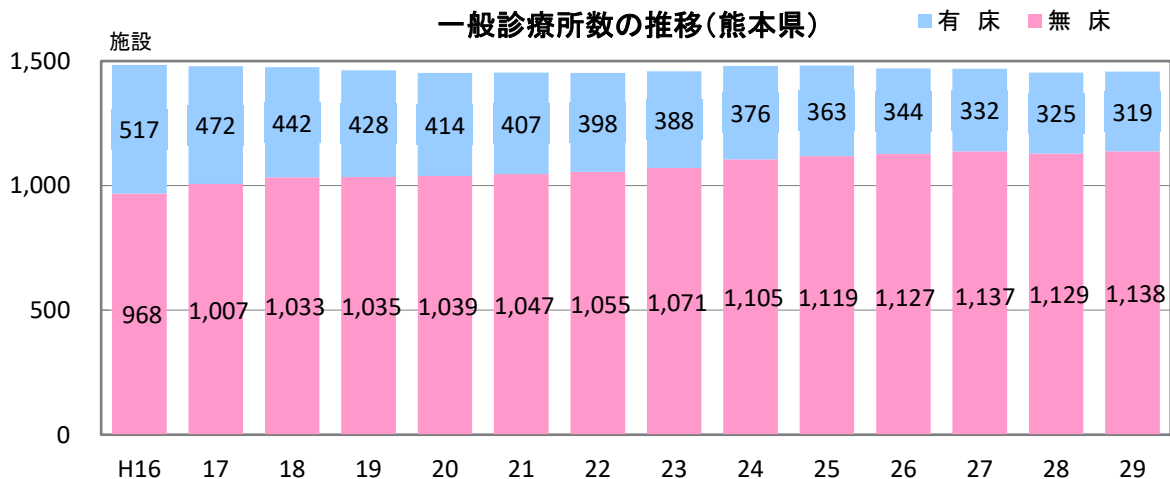
平成29年10月1日現在における熊本県内の医療施設数総数は、2,514施設(ただし、「休止・1年以上休診中」の施設を除く)で前年から3施設減少した。

病院は213施設で、前年から1施設の増加。一般診療所は1,457施設で、前年より3施設増加している。その中で有床診療所(319施設)は年々減少する一方、無床診療所(1,138施設)は増減を繰り返しており、今回は9施設の増加となった。歯科診療所は844施設で、前年より7施設の減であった。

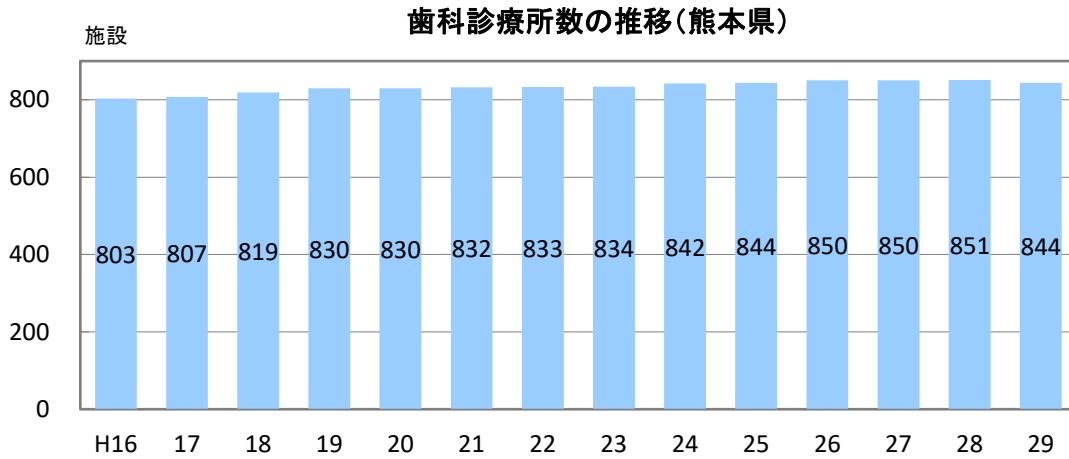
人口10万当たりの病院数と一般診療所数は全国より多いが、歯科診療所数は全国より少ない。開設者別にみた施設数では、病院は「医療法人」が163施設(病院数の76.5%)と最も多く、次いで「公的機関」が23施設(10.8%)である。一般診療所は、「医療法人」が762施設(一般診療所数の52.3%)と最も多く、次いで「個人」が411施設(28.2%)となっている。歯科診療所は、「個人」が631施設(歯科診療所数の74.8%)と最も多く、次いで「医療法人」が209施設(24.8%)となっている。



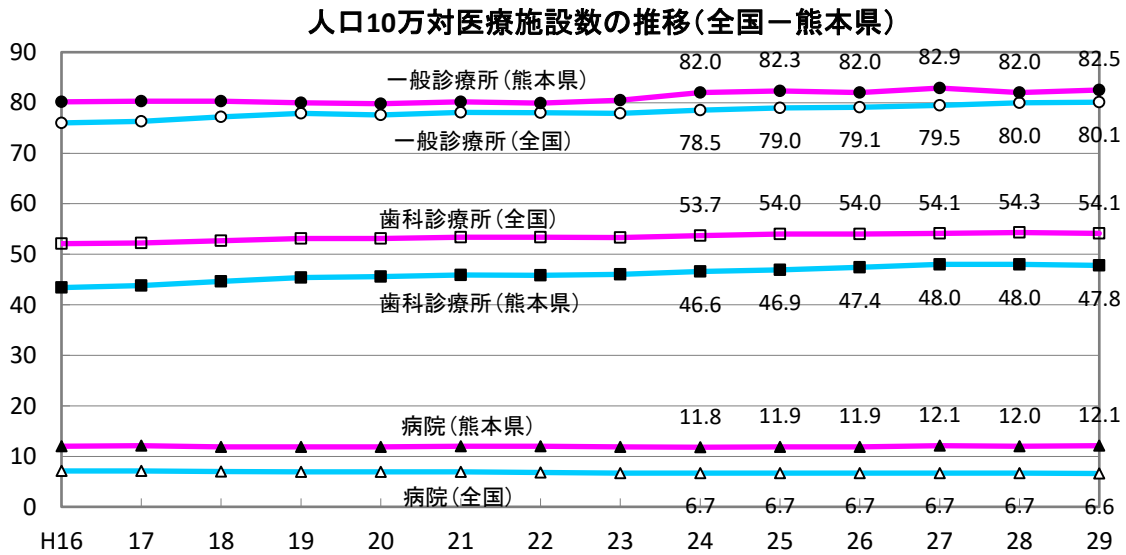
資料) 厚生労働省「医療施設調査」(各年10月1日現在の施設数)



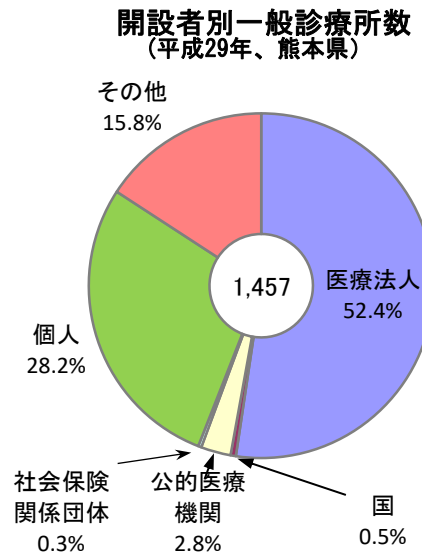
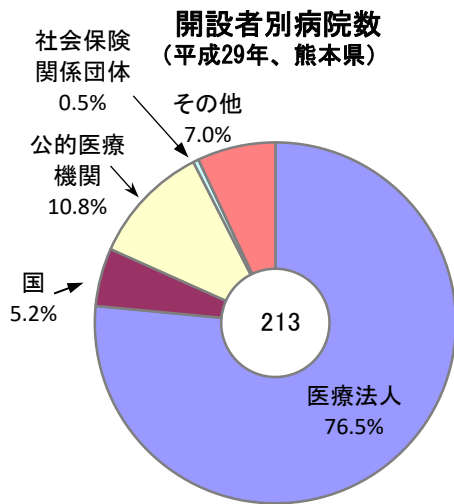
資料) 厚生労働省「医療施設調査」(各年10月1日現在の施設数)



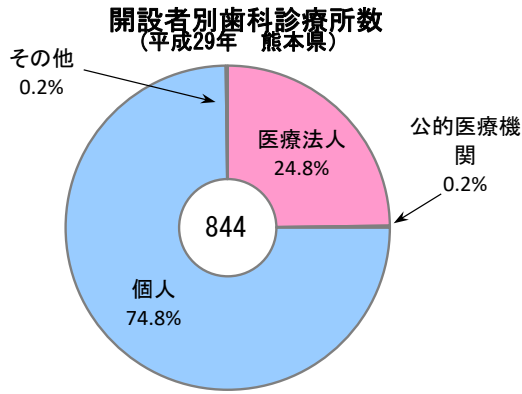
資料) 厚生労働省「医療施設(静態・動態)調査」(各年10月1日現在の施設数)



資料) 厚生労働省「医療施設(静態・動態)調査」(各年10月1日現在の施設数)



資料) 厚生労働省「平成29年医療施設(静態・動態)調査」(10月1日現在)

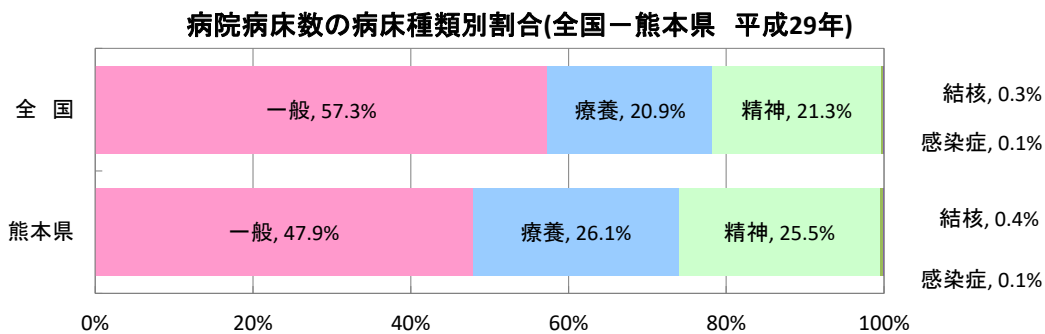
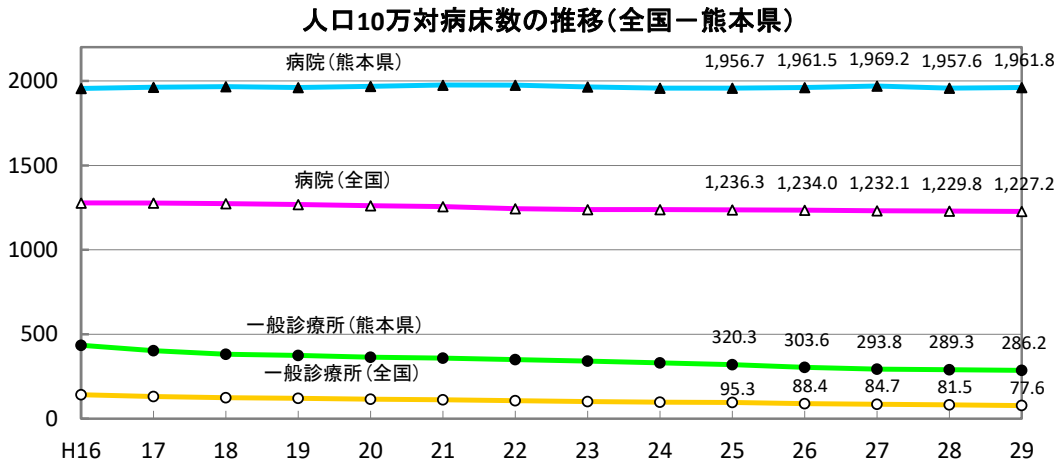


資料) 厚生労働省「平成29年医療施設(静態・動態)調査」(10月1日現在)

(2) 病院の病床数は増加し、一般診療所の病床数は、減少

平成29年10月1日現在の人口10万対病床数は、熊本県で病院が 1,961.8床(精神病床 499.8床、感染症病床 2.7床、結核病床 7.1床、療養病床 512.4床、一般病床939.8床)、一般診療所が286.2床、歯科診療所が0床であった。

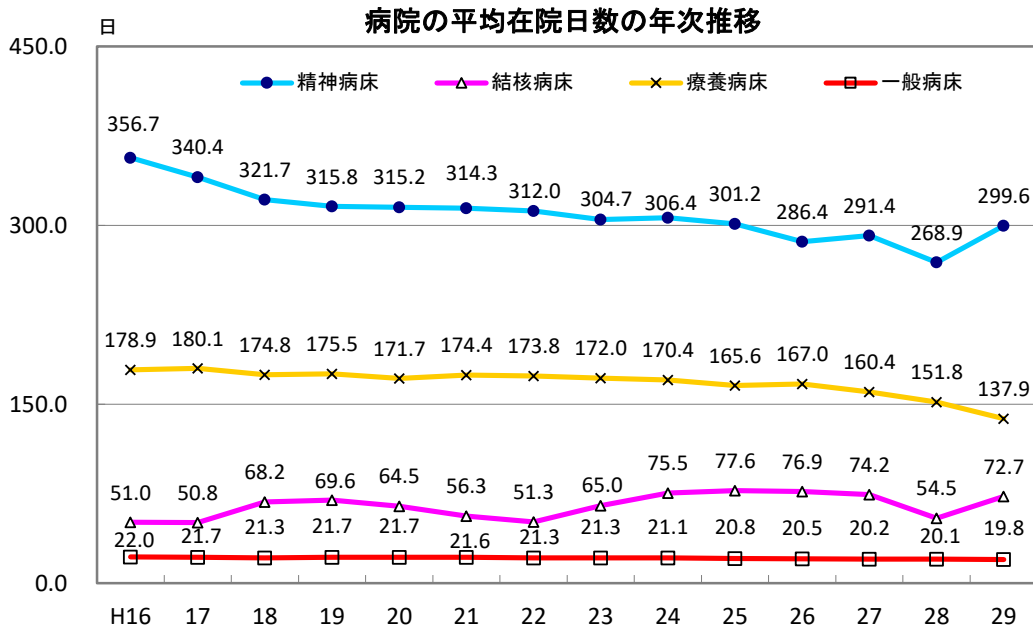
病床数は、病院で前年に比べ4.2床(人口10万対病床数)増加し、一般診療所においては前年より3.1床(人口10万対病床数)減少している。全国の病床数は減少傾向だが本県との差は大きく、依然として全国に比べて病床数は多い。



資料) 厚生労働省「平成29年医療施設(静態・動態)調査」(10月1日現在)

(3) 病院の平均在院日数は、精神・結核病床で増、療養・一般病床で減

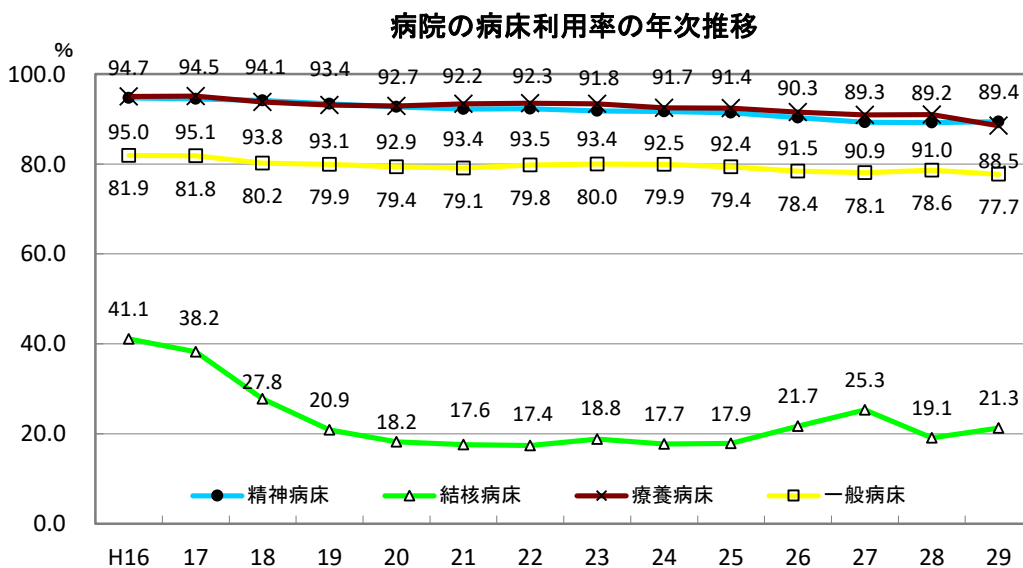
病院の平均在院日数の年次推移をみると、前年と比較して、精神病床で30.7日増加、結核病床で18.2日増加し、療養病床で13.9日減少、一般病床で0.3日減少している。



資料) 厚生労働省「病院報告」

(4) 各病床の病床利用率は、精神・結核病床で増、療養・一般病床で減

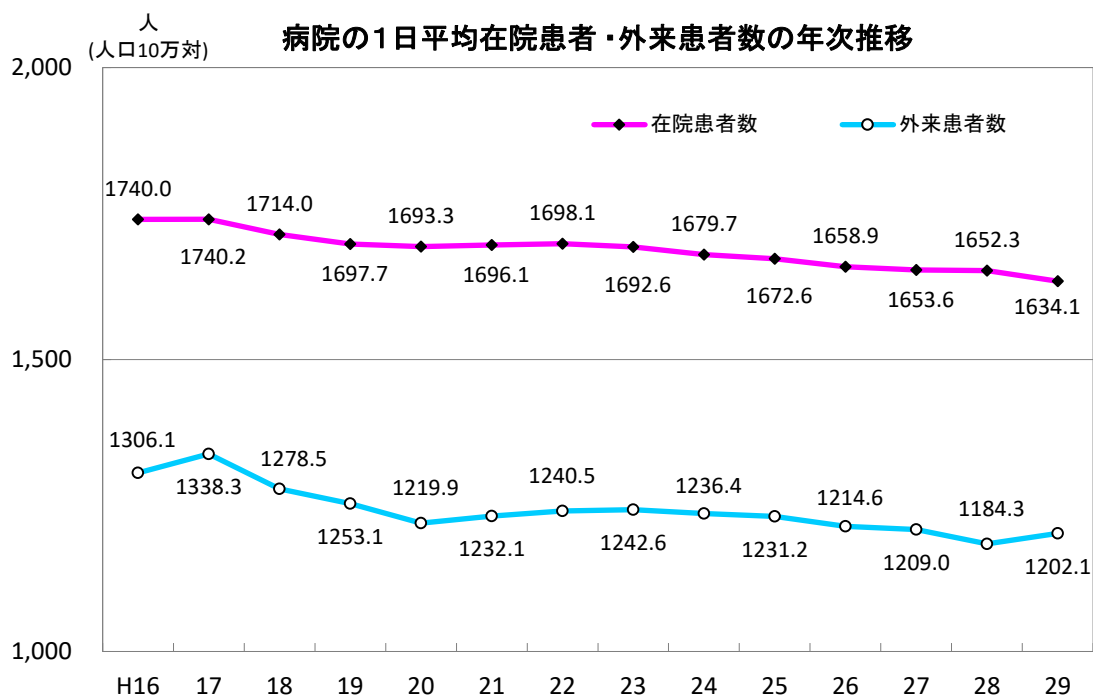
病院の病床利用率をみると、前年と比較して、精神病床で0.2ポイント増加、結核病床で2.2ポイント増加し、療養病床で2.5ポイント減少、一般病床で0.9ポイント減少している。



資料) 厚生労働省「病院報告」

(5) 病院の1日平均在院患者数は減少、外来患者数は増加。

病院における平成29年の人口10万対1日平均在院患者数は1,634.1人で、18.2人減少し、人口10万対1日平均外来患者数は、1,202.1人と、前年に比べ17.8人増加している。



資料) 厚生労働省「病院報告」